



変更後



常務理事会の動き

2022年度の常務理事会は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、以下のスケジュールでオンラインで開催しました。

2022年 第3回常務理事会 オンライン開催 2022年9月30日
2022年 第4回常務理事会 オンライン開催 2022年11月25日

第3回常務理事会の第1議案として、「東京造形大学校友会協賛団体」に関し、2022年後期分として1団体より申請がありました。審査の結果、新規申請団体である「消えるアート」に10万円の協賛を決定しました。第2議案として、「留学奨学生応募資格」について検討しました。「大学・大学院卒業後5年以内」としている留学奨学生の応募資格について、近年の応募者の減少や新型コロナによる留学の延期など現状を踏まえて見直しが提案され、以下の通り応募資格が変更されました。

変更前

III 応募資格・条件

- 1.東京造形大学ならびに東京造形大学大学院を卒業後5年以内の校友会員の方。

変更後

III 応募資格・条件

- 1.東京造形大学ならびに東京造形大学大学院を卒業した校友会員の方。

第3議案として、「校友会ロゴマーク」に関し、校友会公式のTwitter、Instagram、YouTube等を開設するにあたり、アイコンを作成する必要性が生じたため、新たにロゴマークを作成したことを常務理事の長井から報告しました。これは「友」という文字を、Tokyo Zokei Universityの頭文字の小文字、t、z、uを組み合わせでデザインしたものです。審議の結果、今後SNSのアイコン他、会報誌・HP・校友会封筒等で使用していくことが確認されました。

東京造形大学校友会シンボル&ロゴタイプ案



第4回常務理事会の第1議案として、「東京造形大学校友会協賛団体」に関し、2022年後期分として1団体より申請がありました。審査の結果、11回目の協賛となる「国際野外の表現展2023」への協賛について、東京造形大学校友会協賛団体内規第2条 支援条件⑧「新規申請団体を優先するが、申請内容、予算執行状況等の総合的な判断により既支援団体の連続支援も妨げない」にもとづき10万円の協賛を決定しました。第2議案として、「西美大アラムナイ公開セミナー」について報告がありました。「美術を楽しむ日」を記念した公開セミナーとして、校友会公式YouTubeにて「こだま先生のパッケージデザイン講座」が配信されたことが報告され、これを確認しました。

公開日 9月29日に東京造形大学校友会
公式YouTubeにて公開
閲覧回数 942回（2023年2月現在）
タイトル 「こだま先生のパッケージデザイン講座」
出演 小玉文常務理事 渡部千春常務理事

常務理事 長井 健太郎



第3議案として、「ホームカミングデー」に関し、CS祭期間中にホームカミングデーとして、卒業生、在校生、受験生、一般すべての方が集える場所を提供したことが報告されました。

日時 10月15日(土)～16日(日) 10:00～17:00
会場 大学院棟4階 学長室
展示内容 50周年誌パネル展示、1984年制作大学広報映画上映
来場者数 112人（CS祭来場者総数約4000人）
卒業生、一般……58%
教職員………20%
在校生………12%
受験生………10%



第4議案として、「東京造形大学校友会会長ならびに監事の通信選挙結果」について報告がありました。東京造形大学校友会会長ならびに監事の通信選挙に関し、該当候補者の承認が返信書類の過半数を得たので、継続してその任に当たることを決定しました。

有効投票数356票のうち
承認 347票
非承認 4票
無記名 5票

■会長
犬童 一心
15期 デザイン学科 映像専攻
現職：映画監督
■監事
吉田 真之市
23期 デザイン学科 デザインⅡ類
現職：アートディレクター／インスタレーションアートプロデューサー

■監事
井口 亮
24期 デザイン学科 デザインⅡ類
現職：日本工学院八王子専門学校 デザインカレッジ教員

協賛団体展覧会レポート



「まなざす Regard/r(e)gard(私)」と解説する高田芳樹

Laboratory of forest art 2022



「巨木のイメージ17」と解説する原田暁



「森のイメージ17」と解説するASADA

2022年初秋9月18日(日)展覧会初日は土砂降りだった。ここ数年の恒例で初日にアートツアー動画を撮るのだが、酷い雨音でアーティスト自身による作品解説がまるで無意味になるところだった。(ギリギリ声が聞き取れるのでよければ是非ホームページよりご覧下さい)本当に自然に左右される展覧会だ。

だがそれこそがこの展覧会Laboratory of forest artの醍醐味である。展覧会も制作も会議もほぼ全て自然の中で行われる。横浜と聞くと港町で比較的都会をイメージさせる事が多いかもしれないが、自然も多く残っており、その中の一つの里山を会場に使わせてもらっている。その里山を私達は森と呼び、前進の展覧会から数えると20年以上が経過している。その森で、私達は毎年先ずは初春に整備をする事から始める。枯れ枝、枯葉を退けて朽ちた木を切り倒し下草を刈る。ある程度のスペースと安全が確保出来たら、各作家が構想を元に場所決めをする。作家によってはあえて荒れた切り開かれていない場所を選んだり、何年も同じ場所を選んだり、昨年の場所をまた別の作家を選んだりする。森の素材を使うというのが基本的要素なので、場所選びの次は材料集めだ。チェーンソーを使わないと切り倒せない木から、手ノコでいける木、枝、葉、草、実、土、本来は森の素材とは言えないBB弾（近年のサバゲーブームで森にいくらでも落ちてい

る）等々豊富にあるが、希少な為切らないで欲しい物、毒性等で気を付ける必要がある物等に注意は必要である。作家にもよるが本格的な制作が始まるのは真っ盛りの夏になる。街より森は涼しいと言っても危険防止や防虫の為に長袖長ズボンで活動する為に、とても暑く、すぐに体力が奪われ思うように進まない。と、思っているうちに予告なく台風が来て中断を余儀なくされる。台風が去ると昨今のナラガレの為に展示場所に木が倒れていたりとなかなか進まない。

それでも制作をする、時にこちらの都合など少しも考えていない自然を恨めしく思いながら、足掻きながら、時に何物にも変えられない自然に抱かれて感謝をしながら、楽しみながら。

そうこうして作品は完成し、展覧会が始まった。が、安心は出来ない、大雨、暴風、自然の脅威は続く。展覧会中に修理が必要になる場合もある。修理までは要らなくとも、自然素材の作品は時間と共に変化していく。1ヶ月余りの会期最終日10月23日(日)には森における各作品の初々しい異質感は薄れ、森と同化し始めているものも多かった。シュロの茎を編む様に組んで龍を表現した「龍の巣」ASADA は当初は主だった緑が茶色に変化し存在を知らなければ通り過ぎてしまう様だった。そして森での活動は晩秋に終わり、冬は人の活動はお休み。

この展覧会では作品は冬を越し、翌春にメンテナンスをしてもう一度展示の機会を得る。この様に1年を通したサイクルで森の自然と共にある展覧会である為、数年にわたり関わっていく作家が多いのもこの展覧会の特徴である。今年度の参加アーティストは初が1名で複数年継続が11名の合計12名であった。コロナ禍の中では3年目となるが、3名のアーティストがそれぞれワークショップを実施し、土日祝日には作品を解説して巡るアートツアーも行いコロナ禍以前に近い集客があった。2022もこの「森」に感謝。

冬の終わる頃、森に作家やスタッフが集まり、冬を越した作品を眺め、今年はどうするあさるこうすると、寒い中で話し始めるだろう。

そして山桜が散り春の展覧会が終わると、作家も数名入れ替わり、森の整備をしながら、森を歩きながら、森と対話をしながら新たな一年が始まる（予定）。「森」またよろしく。

Laboratory of forest art 2022
会期 2022年9月18日(日)～10月23日(日)
会場 横浜動物の森公園 里山ガーデン保全林（よこはま動物園ズーラシア・里山ガーデン隣接の森）
校友会関係者 3名(6期 高田 芳樹 12期 原田 暁 25期 ASADA)

協賛団体展覧会レポート

逗子アートフィルム 2022

仲本拓史（東京造形大学卒業生）を代表とする団体「逗子アートフィルム」は引き続き、アーティストと鑑賞者、研究者や教育者が市民として緩やかに繋がり合う場を作り、芸術映画に特化した逗子の映像文化を育むことを目的として、イベントを開催した。

3月20日には、逗子文化プラザなぎさホールにて、ハブヒロシ監督（東京造形大学卒業生）『音の映画 -Our Sounds』上映会を行った。新人監督による映像のない音の映画というや特殊な内容で、有料の上映にも関わらず、無料で上映を行なった前回12月の上映よりも多く、42名の来場があった。上映後に実施されたトークセッションでは、監督と観客との活発な意見交換が行われた。上映では、視覚障害者向けのバリアフリーを目指し、メインのウェブサイトのほか、音声読み上げに対応したウェブサイトの制作や、日本語学習者向けの読み仮名をふったウェブサイトを制作した。また、視覚障害者向けに、JR逗子駅、および京急逗子葉山駅からの送迎を行なった。アドバイザーとして、視覚障害者でセラピストの石井健介氏と、眼

科医の澤崎弘美氏に、運営や広報の一部を担当していた。視覚障害者の方たちは本来、介助者の手伝いのない夜に歩出すのは難しい場合が多いが、上記の工夫を行うことによって、多数の視覚障害者の方に映画をご覧いただくことができた。また、広報では、逗子葉山経済新聞を始めとしたいくつかのウェブ媒体に記事が掲載されたほか、湘南ビーチFMでも取り上げられた。口コミでの反響も多くあり、今後また人気が広がっていくことを期待したい。観客からのコメントなどは、公式ウェブサイトに掲載している。

10月8日には、逗子アートフェスティバルのメイン企画として、逗子文化プラザさざなみホールにて、現代美術の映像作品に特化した上映会を行った。国内外で活躍する、逗子に縁のある映像作家を中心に、新作短編映画、ドキュメンタリー、アニメーションを上映。計72名で満席、10代から70代の幅広い層の来場があった。上映作家は大西景太、内海拓、仲本拓史、深田隆之、本藤太郎、宮田涼介、山下つぼみの7名。



逗子アートフィルム2022
会期 2022年10月8日(土)
会場 逗子文化プラザさざなみホール
校友会関係者 5名(36期 磯部 真也、39期 土生 裕、39期 曾和 聖太郎、53期 木津谷 あみ、41期 仲本 拓史)

東京造形大学校友会
留学奨学生募集要項

I 募集人数

年間予算180万円を限度とした人数。

II 奨学金額

滞在期間が6ヶ月以上の場合一人60万円の奨学金贈与。
滞在期間が3ヶ月以上6ヶ月未満の場合一人40万円の奨学金贈与。
滞在期間が1ヶ月以上3ヶ月未満の場合一人20万円の奨学金贈与。
但し、他大学経由の場合、もしくは本学以外の組織・機関から応募する場合は奨学金額は4分の3となる。

III 応募資格・条件

1. 東京造形大学ならびに東京造形大学大学院を卒業した校友会員の方。
2. 公的機関及びそれに準ずる留学の受け入れ先を証明できる方。
3. 終了時に、下記のレポート、書類の提出を義務とします。
 - ①留学（研究）レポート。
 - ②在籍証明書、終了証明書等留学の事実を証明出来るもの。（修学期間毎・5月31日提出締め切り）
4. 上記1～3の項目を偽ったり、履行しない場合は奨学金の全額を返還していただく場合があります。
5. 留学奨学生に選考された場合、日本国内に保証人をたてていただきます。

IV 選考

応募者は、次の書類・留学計画書（小論文）・作品のカラー写真をまとめて提出して下さい。

1. 願書・履歴書（校友会の所定用紙による）。顔写真貼付のこと（5×4cm）。
2. 留学先の受け入れを証明する書類（写し・推薦書も可・様式は随時、和訳添付の事）。
3. 東京造形大学教務部交付の卒業証明書・成績証明書。
4. 留学について所定用紙に「1～3」の設問に沿って書き込んで下さい。
5. 過去に制作した作品のカラー写真10枚以内。
 - ・市販のクリアファイル（A4版）にファイルすること。
 - ・ファイルの表紙に氏名を記入すること。
 - ・ファイルの見開き1頁目、作品写真データ用紙（校友会所定のもの）を貼付すること。
 - ・作品写真データ用紙No.と、ファイル各頁左上の通しNo.を対応委させること。
 - ・各頁の余白に、氏名、作品名、作品のサイズ、制作年を明記すること。
 - ・各写真の裏面にも氏名、作品名を明記すること。
 - ・映像等の作品は、CD、DVD等での提出も可。
 - ※上記作品データに作品時間、制作年を明記すること。

V 選考方法

選考会は、校友会常務理事会による書類審査となります。また、選考会には必要に応じて会長、副会長が参加します。審査方法は、留学計画書、提出された作品写真またはデータ、受け入れ先の確認、在学中の成績等、総合的に評価し選考されます。また、書類選考後、必要に応じて面接選考を行うことがあります。

VI 願書配付期間

2023年3月1日(水)～4月28日(金)

VII 応募受付期間

2023年5月8日(月)～5月26日(金)

VIII 願書受付期間応募先

東京都八王子市宇津貫町1556 東京造形大学校友会事務局 宛
tel/fax（校友会事務局）042-637-3093（月、水、金曜日9:00～17:00）
tel（大学代表）042-637-8111（内線113）
e-mail：info@zokei.net
1. 願書配付については、送料200円分の切手を同封の上、送付先を明記して郵送にて事務局に請求して下さい。
2. 応募に関しては、郵送の場合は締切り日迄の消印を有効とし、「応募書類」朱書した書留郵便にして下さい。

IX 選考結果の発表

2023年6月12日(月)午前中、審査結果を応募者全員に電話連絡します（各自、確認の電話を入れても構いません）。その際、奨学生（確定者）に関しては、本人の確認と、留学の確認を再度させていただきます。

X 決定と手続き

本人の確認後、15日以内の所定手続き完了後、7月下旬に支給されます。奨学生の決定は会報誌で公示します。